

平成20年度 公立大学法人 大阪市立大学 財務の概要

■貸借対照表の概要

資産の部		負債の部	
土地	385	資産見返負債	171
建物等	481	長期寄附金債務	25
備品	51	長期借入金	15
図書	135	未払金	52
美術品等	1	その他	49
ソフトウェア	6	負債合計	312
有価証券等	21		
その他	1		
現金及び預金	67		
未収入金	43		
たな卸資産	4		
資産合計	1,195		

資本の部	
資本金	982
資本剰余金	-136
利益剰余金	37
資本合計	883
負債・資本合計	1,195

■損益計算書の概要

経常費用		経常収益	
人件費	243	運営費交付金収益	148
教育研究診療等経費	170	授業料収益等	51
一般管理費	15	病院収益	217
減価償却費	19	外部資金	19
経常費用合計	447	その他	22
		経常収益合計	457
当期総利益	10		
計	457	計	457

平成20年度末の貸借対照表の概要は上表のとおりであり、主な項目は以下のとおりです。

資産の部

- 建物等 481億円
減価償却等により、昨年度比29億円減となっております。
- 備品 51億円
附属病院の医療機器整備により昨年度比約2億円増となっております。
- 有価証券等 21億円
内訳としては、地方債等1,393百万円、長期性預金300百万円、金銭信託380百万円となっております。
- 現金及び預金 67億円
内訳としては、現金17百万円、預金6,664百万円となっております。

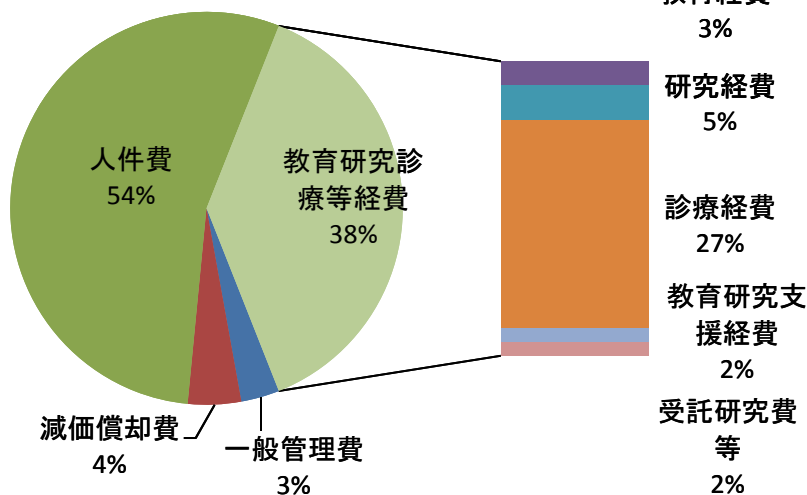
負債の部

- 長期寄附金債務 25億円
本学の基金の総額です。
- 長期借入金 15億円
医学部附属病院における設備充実のため、大阪市から借り入れたものです。

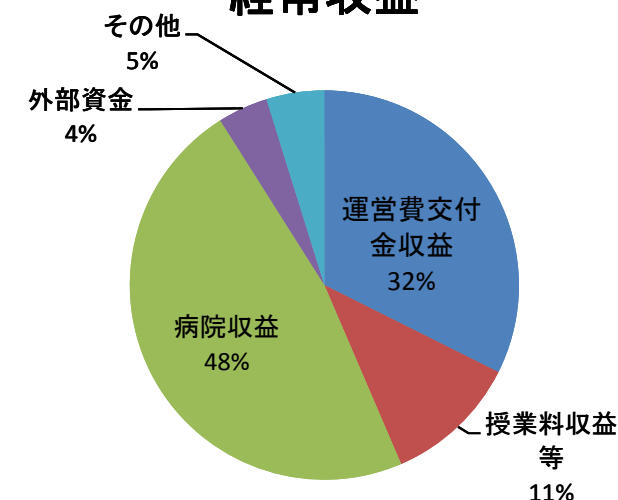
資本の部

- 資本金 982億円
大阪市から出資された土地、建物等です。
- 資本剰余金 -136億円
公立大学法人会計では、教育研究に用いる特定の建物等にかかる減価償却費相当額を資本剰余金から減額する方法で計上します。今年度はマイナス34億円を計上し-136億円となっております。
- 利益剰余金 37億円
内訳としては、目的積立金27億円及び当期総利益の10億円となっております。

経常費用



経常収益



当期総利益 約10億円

今年度は、附属病院において診療収益が大きく増加する一方、諸経費を極力抑えることなどにより、昨年度に比べ病院収益が改善されております。また、外部資金の獲得や管理経費の削減にも努め、これらの要因によって、昨年度に比べて9億円利益が増加しております。